

# 令和6年度 第1回学校運営協議会 報告

静岡県立静岡農業高等学校

## 1 開催日時

令和6年6月26日（水）13時15分から15時15分まで

## 2 開催場所

静岡県立静岡農業高等学校 会議室

## 3 出席者

- (1) 学校運営協議会委員 5名
- (2) 学校教職員 9名

## 4 次第

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| (1) 開会                   | 13:15  |
| (2) 学校運営協議会委員の委嘱         | 13:15～ |
| (3) 自己紹介                 | 13:20～ |
| (4) 校内見学                 | 13:30～ |
| 5限授業                     |        |
| 食品棟、環境棟等見学               |        |
| (5) 校長挨拶及び学校経営計画等の説明（校長） | 14:10～ |
| (6) 指導方針及び取組等            | 14:25～ |
| 学習指導（教務課）                |        |
| 生活指導（生徒課）                |        |
| 進路指導（進路課）                |        |
| 保健指導（保健課）                |        |
| 農業指導（農業部）                |        |
| (7) 質疑応答と意見交換            | 14:55～ |
| (8) まとめ、次回開催予定等          | 15:10～ |
| (9) 閉会                   | 15:15  |

## 5 質疑応答の内容

### 【委員A】（ICTについて）

授業や採点をはじめとする教職員の業務においてICT化が進み、多くのシステムが導入されていると感じる。例えば、今まで生徒に情報を提供する際、ペーパーベースであればプリントとして生徒の手元に残るため、生徒の失念は抑えられたと思う。今は大量のデータが生徒に届く。生徒の情報の見逃し等の事例があったら、教えて欲しい。大学ではデジタルデータの場合、情報の見逃しはある。教職員は連絡を送ったつもりでいたのに、学生

に連絡が届かない、学生の情報の失念等のトラブルがあった。貴校では生徒のキャッチミス等のトラブルはあるか。

**【校長】**

体制は整えている。懸念材料ではあるが、今のところ教職員と生徒とのトラブルはない。教職員はかなり気をつけて、「資料をクラスルームに掲示した」等の声をかけているので、現時点では問題ない。

**【委員B】（アルバイトについて）**

平常時に許可制でアルバイトを行えるようになった。アルバイトが許可制になったが、現在、どのような状況になっているか教えて欲しい。

**【生徒指導主事代理】**

進路が明確になり、夏休みから始めようとしている者もいる。余裕がある時間を部活動や自分の時間として使っている生徒が多い。

**【校長】**

20名を少し超える生徒が希望している。許可を出すのみではなく、学期ごとに報告書を提出する等の形式が必要だ。

**【委員B】（農業クラブ意見発表について）**

学校のホームページを拝見した。農業クラブ各種発表県大会で静岡農業高校の生徒が最優秀を受賞した。JAの青壯年大会でも発表していただけることについて、ありがたい。毎年、高校生が青壯年大会に参加し、農業を仕事としている若者が大きな刺激を受けている。

**【校長】**

関東大会に出場するため、全国大会に繋がると良いと思う。代表者は2年生のため、今年1回だけでなく、来年は地元・静岡で行う関東大会に繋げられると良い。

**【委員C】（グランドデザインについて）**

校長が示すグランドデザインについて、生徒は理解しているか。

**【校長】**

生徒には示すところまでは至っていない。教職員がイメージできるように作ったものである。校訓等、多くのものが掲げられている。伝統校であればある程、いろいろあって、どこにベクトルを合わせていくかが大事である。

**【委員C】**

キャッチコピーは教職員が共有するものなのか、生徒と共有するために作ったものなのか、非常に難しい。生徒を中心として考えた場合、生徒にキャッチコピーを投げかけた時にどのような反応するのか、グランドデザインとして生徒が理解できることなのか、生徒が理解できないことなのか、このような視点を持つと良い。

**【校長】**

生徒には「校訓」はもちろん、2つの教育理念「求めて学び、耐えて鍛える」を意識して話している。教育理念については生徒の印象に残るように伝えている。

**【委員D】（創立110周年について）**

9月20日に創立110周年記念式典があるが、どのように行うのか。

**【校 長】**

記念講演を中心に行う。記念講演の講師は本校の卒業生であり、izoo の館長である白輪氏である。

**【委員E】**

Instagram を拝見しており、部活や農場のことを知ることができる。さらに多くのことをアップロードすると良い。

**【校 長】**

改革中である。ホームページはオフィシャルなものにしている。Instagram は写真を中心アップロードしている。今、700 人のフォロワーがいる。改良を加え、目標を 2,000 人にしたい。

**【委員A】**

本年度から、1 クラス減で負担感や不安も大きいと思うが、このような時こそ、新しいことをやるチャンスである。少子化等、乗り越えなければならない課題はあるが、他校とアイデアを出し合いながら、小さな意見も考慮し改善していくと良い。

**【校 長】**

県教育委員会からは多くの案内が来る。教職員に示しながら、精選して取り組むようにしている。学級減で学校の総合力が弱まるのではなく、学級減だからできることを考え、前向きに捉え、取り組んでいきたい。